

授業が変わる！評価が変わる！

これからの中学校英語科における授業づくり ～評価問題編～

今年度から学習指導要領が全面実施され、学習評価の在り方が変わります。それに伴い、評価問題も変わります。そこで、本コンテンツでは、**評価問題の改善ポイントについて、具体例を示しながら説明します。**ここでは、**理解の領域(「聞くこと」及び「読むこと」)**について示します。

1 英語の目標

評価問題作成の際には、まずは英語の目標を確認することが大切です。「聞くこと」及び「読むこと」の目標を以下に示します。

聞くこと	<p>ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。</p>
読むこと	<p>ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。</p>

中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説【外国語編】 pp.18-26 を基に作成

2 各観点において評価すること

理解の領域(「聞くこと」及び「読むこと」)において、各観点で評価することは以下のとおりです。

観点	評価すること
知識・技能	話されたり書かれたりしている 内容を正確に聞き取ったり読み取ったりできるか を評価します。
思考・判断・表現	話されたり書かれたりしている内容を聞き取ったり読み取ったりした上で、 コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、「必要な情報」や「概要」、「要点」を捉えることができるか を評価します。
主体的に学習に取り組む態度	基本的には 「思考・判断・表現」と一体的に 評価します。 ※言語活動で表出された態度を見取ります。



「知識・技能」における内容とは、話されたり書かれたりしている英語そのものを指します。

3 評価問題作成のポイント

ポイント

- ① 「聞くこと」及び「読むこと」の目標を確認します。
- ② 出題する問題により評価すること(「知識・技能」の評価問題 / 「思考・判断・表現」の評価問題 [必要な情報を捉える問題, 概要を捉える問題, 要点を捉える問題])を明確にします。
- ③ 「知識・技能」の評価問題においては, 特定の言語材料*1 を使用して作成する必要があります。
- ④ 「思考・判断・表現」の評価問題においては, 特定の言語材料を必ず使用しなければならないわけではありません*2。
- ⑤ 「思考・判断・表現」の評価問題においては, 読まれたり書かれたりした英文の「必要な情報」「概要」「要点」を捉えることができるかを問います。そのため, それぞれを評価することに適したテキストの種類を選択することが大切です。

評価すること	テキストの種類
必要な情報	広告, パンフレット, 予定表, 手紙, 電子メール等
概要	時系列で書かれた短い説明, 意見文, エッセイ, 物語等
要点	社会的な話題に関する説明文, 意見文, 手紙, 電子メール等

(注1) 特定の言語材料とは, 該当単元や該当学期において扱った言語材料を示します。

(注2) しかしながら, 特定の言語材料が必然的に使用されるよう, コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などを工夫することは大切です。

4 「聞くこと」における評価問題

(1) 「知識・技能」の評価問題

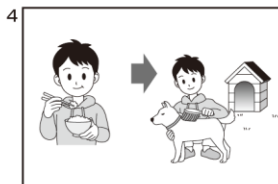
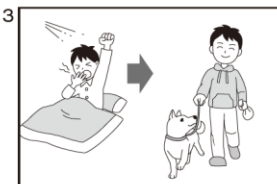
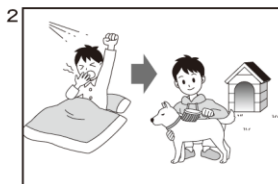
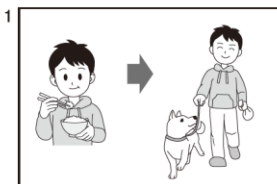
「聞くこと」における「知識・技能」は, **話された内容を正確に聞き取ることができるか**を評価します。評価問題を以下に示します。

【例1:重文の問題】

1 (放送問題)

話される英語を聞いて, その内容を最も適切に表している絵を, それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(1)



(スクリプト)

I get up at six every Sunday
and take my dog for a walk.

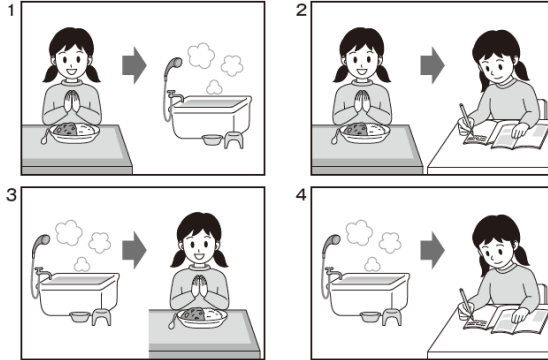
「平成31年度 全国学力・学習状況調査」より

【例2:対話文の問題】

1 (放送問題)

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(4) <家での会話>



(スクリプト)

A: I'm so hungry.

B: Today's dinner is curry and rice.

It will take about thirty minutes to cook. Do you have any homework today?

A: No, I don't.

B: Then take a bath before dinner.

A: OK.

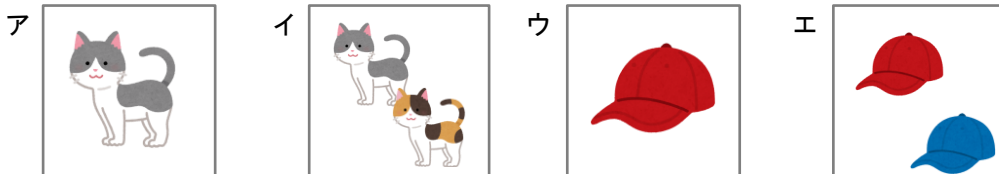
「平成31年度 全国学力・学習状況調査」より

ポイント

- ① 従来のリスニングテストにおいては、放送が2回繰り返されていましたが、これからは実際のコミュニケーションの場面と同様、1回とします。
- ② 特定の言語材料を使用して評価問題を作成します。
- ③ 1つのキーワードだけではなく、話される文章(文)全体の内容の聞き取りが必要な評価問題を作成します。
- ④ 実際のコミュニケーションの場面を設定することが大切です。絵やグラフ、表などと組み合わせ、オーセンティックな場面設定を心掛けましょう。



例：これから放送される英語はどの絵を指しますか。アからエの中から選び、記号で答えなさい。

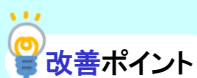
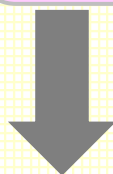


(スクリプト) Two cats.

NG ポイント

□特定の言語材料(名詞の複数形)を用いてはいるが、実際のコミュニケーションの場面が設定されていない。

□単語の聞き取り問題となっている。

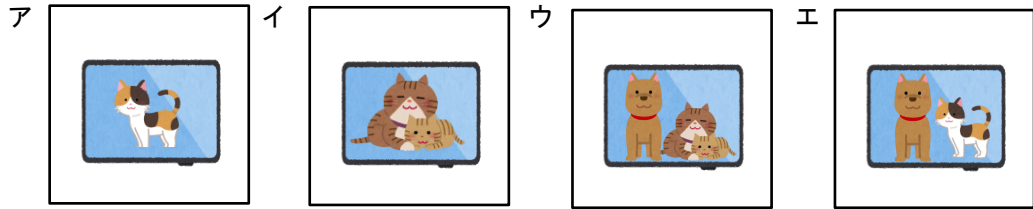


(スクリプト)と選択肢を change!

スマートフォンで撮ったペットの写真を見せながら対話する場面を設定!

OK

例：A が B にスマートフォンで撮った写真を見せながら話をしています。A が見せている写真を、下のアからエの中から選び、記号で答えなさい。



(スクリプト)

A: Look at this picture. They are my pets.

B: Wow, they are so cute! What's the name of your dog?

A: Pochi. And these two cats are Tama and Mike.

(2) 「思考・判断・表現」の評価問題

「聞くこと」における「思考・判断・表現」は、話された内容を聞き取った上で、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、「必要な情報」や「概要」、「要点」を捉えることができるかを評価します。評価問題の例を以下に示します。

【例1:必要な情報を捉える問題】

- 1 あなたの学校では、今週の土曜日に英語のイベントに出かけます。当日に向けて担任の先生に確認しようと思っていたことを書き留めていた【メモ】を見ながら、あなたは担任の先生の指示を聞いています。聞いた後、あなたが担任の先生に確認する必要がある内容はアからエのどれですか。最も適切なものを一つ選びなさい。

【メモ】

- 集合時間
- 集合場所
- 終了時刻
- 持ち物

ア 集合時間 イ 集合場所 ウ 終了時刻 (正解) エ 持ち物

(スクリプト)

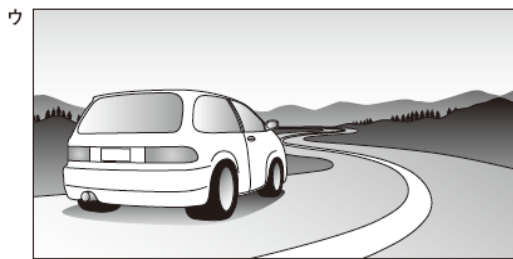
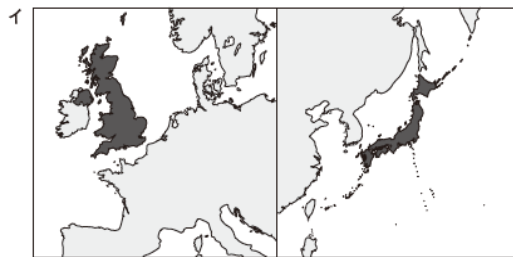
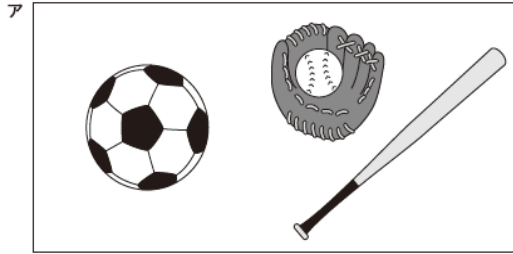
Please listen carefully. I will tell you about the English Camp at Sakura Hall this Saturday. It will start at 10 am, so please arrive there by 9:45. Remember to bring your handbook, a pencil, and an eraser. You will need your gym shoes, too. You don't have to bring lunch. You will be making curry and rice with your friends and the ALTs. Don't bring any snacks! Any questions?

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料より

【例2:概要を捉える問題】

2 (放送問題)

英語の授業で、ある生徒が2つの国について調べたことを、次の3枚の絵を見せながら発表します。生徒はア、イ、ウをどのような順番で見せるでしょうか。正しい順番になるように、1つずつ絵を選びなさい。



(スクリプト)

What countries are these? Yes, they are the U.K. and Japan. Both countries are the same in some ways. They are island countries, and cars run on the left. The two countries are different in some ways, too. In Japan, baseball is popular, but in the U.K., it isn't. Football is more popular than baseball. I think knowing about the life and culture of other countries is interesting. I want to learn more about them in the future.

「平成31年度 全国学力・学習状況調査」より

【例3:要点を捉える問題(領域統合型)】

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(スクリプト)

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer.

「平成31年度 全国学力・学習状況調査」より

ポイント

- ① 従来のリスニングテストにおいては、放送が2回繰り返されていましたが、これからは実際のコミュニケーションの場面と同様、1回とします。
- ② 「聞くこと」の目標(「必要な情報」「概要」「要点」を捉えること)に対応した評価問題を作成することが大切です。



【「聞くこと」の目標に対応していない評価問題】

例：[指示文] ブラジルから来た留学生のアナ（Anna）が自分の国の学校生活についてスピーチしています。その内容と合っていないものを、アからエの中から選んで、記号で答えなさい。

(スクリプト)

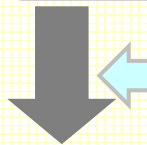
Hello, everyone. I'm Anna from Brazil. In Brazil, we go to school by car or bus. We have five classes in the morning or in the afternoon. I have classes from 7 o'clock to 11 o'clock. I leave school around twelve, so I have lunch with my family. I don't have lunch at school.

- ア Students in Brazil go to school by bike.
- イ Students in Brazil have five classes in a day.
- ウ Anna has classes from 7 o'clock in Brazil.
- エ Anna has lunch with her family in Brazil.

「令和2年度 佐賀県学習状況調査」を加工して作成

NG ポイント

□Annaのスピーチの内容と合っていない選択肢を選ぶ問題(間違い探し)になっている。



改善ポイント

【指示文】と選択肢を change!

スピーチの流れに沿って3枚の絵を並べるようにし、概要を捉える問題に!



例：[指示文] 英語の授業で、ブラジルから来た留学生のアナが自分の国の学校生活について、次の3枚の絵を見せながら発表します。アナはア、イ、ウの絵をどのような順番で見せるでしょうか。正しい順番になるように、1つずつ絵を選んで、その記号を書きなさい。



「令和2年度 佐賀県学習状況調査」より

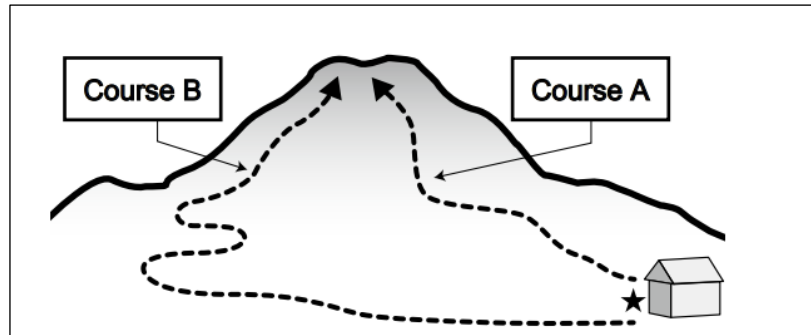


【「聞くこと」の目標に対応していない評価問題】



例：〔指示文〕山登りに詳しい人が、次の図を見せながら話しています。その内容に対する質問の答えとして最も適切なものを、1から4の中から選び、記号で答えなさい。

(スクリプト)

You are going to take Course A and start climbing at ten o'clock tomorrow, right? But you have to take Course B and start earlier. Course B takes more time, but it is easier than Course A. Course A is too difficult for junior high school students. The weather on the mountain changes quickly. I'm afraid it'll be rainy tomorrow afternoon. So you need to start before eight. Starting at ten is too late.



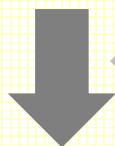
Question: How will the weather be tomorrow afternoon on the mountain?

- 1 
- 2 
- 3 
- 4 

「平成 30 年度 英語予備調査」(https://www.nier.go.jp/l8chousakekkahoukoku/kannren_chousa/pdf/l8mondai_chuu_eigo_yobi.pdf)を加工して作成

NG ポイント

□〔指示文〕に山登りが得意な人がなぜこのような話をしているか、コミュニケーションを行う目的や場面、状況が具体的に示されておらず、天気の見取りを行う必然性がない。



〔指示文〕と選択肢を change!

話し手が一番伝えたいことを問うようにし、要点を捉える問題に!



例：〔指示文〕カナダでホームステイ中のあなたは、友達と山登りをすることになりました。これから、山登りに詳しい人が、次の図を見せながらあなたに事前のアドバイスをしてくれます。その人が一番伝えたいことはどのようなことですか。最も適切なものを、下の1から4までのの中から1つ選びなさい。

- 1 Course B takes more time.
- 2 Course A is too difficult.
- 3 The weather on the mountain changes quickly.
- 4 You have to start before 8:00.

「平成 30 年度 英語予備調査」より

③ 5ページ【例3】のような「聞くこと」の能力に重点を置いた領域統合型の評価問題においては、解答を単語で書かせたり、英文で書かせたりする場合は2～3文程度にしたりして、「書くこと」の負担を減らします。また、「書くこと」の能力を問う問題にならないよう、採点基準の設定に留意する必要があります。5ページ【例3】の採点基準を以下に示します。

問題番号	解答類型	正答
4	1	◎
	2	○

「平成31年度 全国学力・学習状況調査 解説資料」より

5ページ【例3】においては、文法事項に誤りがあったり、単語で解答していたりしている場合でも、ニックができる部活動についてのアドバイスを、「おおむね理解できる英語」で解答していれば準正答としています。

実際に定期テスト等で採点する際は、この「おおむね理解できる英語」がどこまでを示すのかについて、各中学校の英語科教員間で共通理解を図っておく必要があります。



5 「読むこと」における評価問題

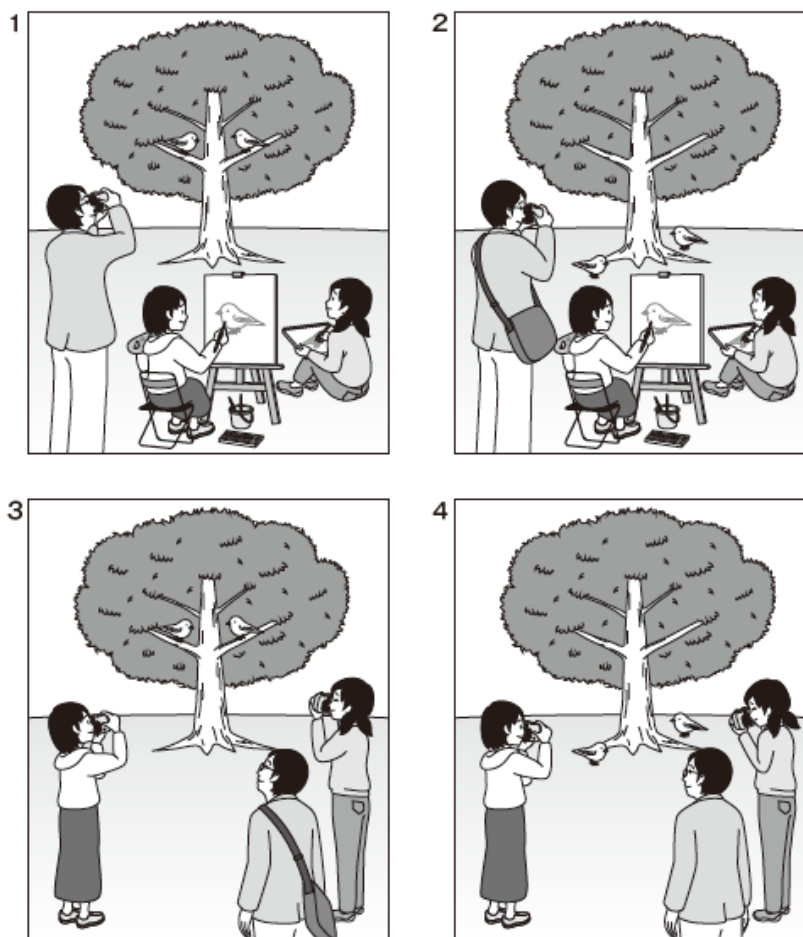
(1) 「知識・技能」の評価問題

「読むこと」における「知識・技能」は、書かれた内容を正確に読み取ることができるかを評価します。評価問題の例を以下に示します。

【例1: 英文と絵を組み合わせた問題】

(2) 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

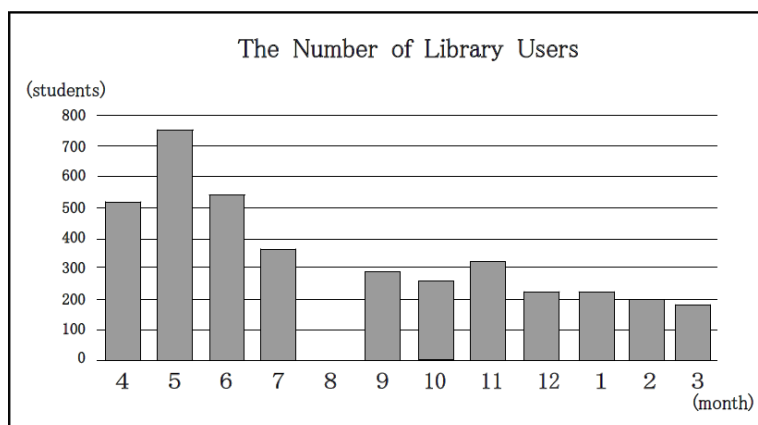
I went to a park yesterday. I saw two beautiful birds in the tree. There were three people around the tree. Two girls were taking pictures. A man with a bag was just watching the birds.



「平成 31 年度 全国学力・学習状況調査」より

【例2: 英文とグラフを組み合わせた問題】

- (2) 次のグラフは、学校の図書館利用者数(The Number of Library Users)を表しています。このグラフから読み取れることを最も適切に表している英文を、あとのアからエの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。



- ア The students came to the library every month.
 イ The students used the library a lot in March, but they didn't in May.
 ウ About 500 students used the library in April.
 エ About 200 students came to the library in September.

「令和2年度 佐賀県学習状況調査」より

ポイント

- ① 特定の言語材料を使用して評価問題を作成します。
- ② 1つのキーワードだけではなく、書かれた文章(文)全体の内容の読み取りが必要な評価問題を作成します。
- ③ 実際のコミュニケーションの場面を設定することが大切です。絵やグラフ、表などと組み合わせ、オーセンティックな場面設定を心掛けましょう。

NG

例：次の英文は、エミが英語の授業で「クラスの生徒が所属している部活動」について書いたものです。英文を読んで、()に入る適切な語を書きなさい。ただし、指定されたアルファベットで書き始めること。

There are 24 students (i) my class. Most (o) them join the club activities. 8 (s) play tennis, 5 students play baseball, 3 students do kendo, and 2 students join the chorus club. 6 students don't join the (c) activities.

NG ポイント

- 文章全体の内容の読み取りをしなくても、前後の語彙や文が分かれば、()に適切な語を書くことができる問題となっている。
- 特定の言語材料が適切に設定されていない。

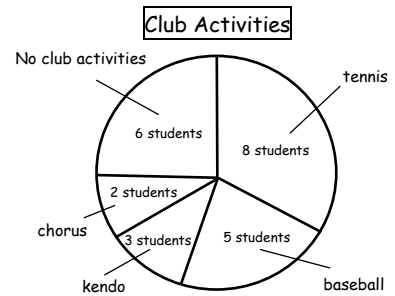
改善ポイント

問題の形式を change!

エミが用いた円グラフと組み合わせ、書かれた英文全体の読み取りが必要な問題に！
 特定の言語材料を適切に設定！

OK

例：下の円グラフは、エミが英語の授業で「クラスの生徒が所属している部活動」について説明したときに用いたものです。円グラフを表す英文として正しいものを、アからエの中から1つ選んで、その記号で答えなさい。



- ア All students in Emi's class join the club activities.
- イ Sixteen students are in the sports clubs.
- ウ Twelve students are in the chorus club.
- エ Two students don't join the club activities.

人数や部活動への所属を表す英文を正確に読み取ることができるかを問う問題

(2) 「思考・判断・表現」の評価問題

「読むこと」における「思考・判断・表現」は、書かれた内容を読み取った上で、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、「必要な情報」や「概要」、「要点」を捉えることができるかを評価します。評価問題の例を以下に示します。

【例1：必要な情報を捉える問題】

8

大河 (Taiga) はアメリカ (America) からの留学生のジュリー (Julie) と教室で話をしています。その後、大河は家で試合 (game) のチケット (ticket) を確認してジュリーに電話をしました。大河がジュリーに電話をした内容として最も適切なものを、アからエの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

(教室で)

Taiga : Do you *¹know "Futures", Julie?
 Julie : Futures? No, I don't. What's that?
 Taiga : They're a *²professional basketball *³team in our *⁴city.
 Julie : I see.
 Taiga : Do you play any *⁵sports, Julie?
 Julie : Yes. I'm in the basketball club in America.
 Taiga : Really? Let's *⁶watch a basketball game on Sunday.
 I have two tickets. Futures and Horizons have a game at *⁷Sunshine Arena. Horizons are a good team too.
 Julie : Really? That's nice. What time?
 Taiga : The game *⁸starts at ten.
 Julie : OK. *⁹I can't wait!

(大河は帰宅して)

Taiga : *¹⁰Oh, no!

(大河はジュリーに電話をする)

Taiga : Hello, Julie...

【チケット】



(注) *¹know 知っている *²professional プロの *³team(s) チーム
 *⁴city 市 *⁵sport(s) スポーツ *⁶watch 見る
 *⁷Sunshine Arena サンシャインアリーナ (場所の名前)
 *⁸start(s) 始まる *⁹I can't wait! 待ち遠しいな。
 *¹⁰Oh no! なんてことだ。(驚きを表す)

- ア チーム名が間違っていたこと。
- イ 試合のある曜日が間違っていたこと。
- ウ 試合の開始時刻が間違っていたこと。
- エ スポーツの種目が間違っていたこと。

「令和2年度 佐賀県学習状況調査」より

【例2:概要を捉える問題】

6 英語の授業で、身近なものを調べて発表することになりました。次の英文は、ある生徒が、100円ショップについて調べてまとめたものです。これを読んで、発表の始めに話の流れを示すスライドとして最も適切なものを、右の1から4までのの中から1つ選びなさい。

We have many 100-yen shops (*hyakkin*) in our city. We can buy many kinds of things for 108 yen now. One of the biggest sellers is stationery. Many people buy kitchen items and cleaning items, too. We can also get food, toys, and even clothes.

There were some shops like *hyakkin* long before the first *hyakkin* shop opened. In the 1930s, Japan had "10-sen shops." Everything in these shops was 10 sen. They were very popular. Their number went down during World War II. In the 1960s, some supermarkets or department stores had 100-yen corners or 100-yen events. In 1985, the first *hyakkin* opened in Aichi. In the 1990s, a lot of *hyakkin* opened in Japan. Today there are about 8,000 shops.

There are shops like *hyakkin* in many countries. For example, in the U.S., they have one-dollar shops. I was surprised that some of these shops sell medicine. We cannot buy medicine at *hyakkin* in Japan. The U.K. has one-pound shops. In the U.K., DIY is popular, so there are many items for DIY at one-pound shops. Many other countries also have shops like *hyakkin*.

(注) the biggest seller: 最も売れているもの stationery: 文房具
 item: 商品 1930s: 1930年代 (1960s, 1990sも同様)
 sen: 銭 (日本の古い通貨単位) World War II: 第二次世界大戦
 department store: デパート corner: コーナー
 pound: ポンド (イギリスの通貨単位)
 DIY: 日曜大工 (趣味で行う簡単な大工仕事)

1

100-yen Shops

(1) The number of shops

(2) History

(3) Popular items

2

100-yen Shops

(1) Popular items

(2) *Hyakkin* in the world

(3) The number of shops

3

100-yen Shops

(1) The number of shops

(2) *Hyakkin* in the world

(3) History

4

100-yen Shops

(1) Popular items

(2) History

(3) *Hyakkin* in the world

「平成31年度 全国学力・学習状況調査」より

【例3:要点を捉える問題】

7 中学生の一部は、スマス先生 (Ms. Smith) と話しています。次の会話文中の() 内に入る最も適切なものを、右の1から4までのの中から1つ選びなさい。

Ms. Smith: Ichiro, why don't you read this article? It's interesting.

Ichiro: Oh, thank you, but it's all in English. That's difficult for me.

Ms. Smith: This newspaper is for students. Try reading it!

Ichiro: OK.

[*Ichiro reads the article.*]

Chimpanzees are one of the smartest animals. They can do a lot of things. How smart are they? A team at a university in Japan found the answer. Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children in some ways.

Few animals can understand *janken*. In *janken*, none is the strongest among *rock*, *scissors*, and *paper*. Learning about the relation among the three is very difficult.

The team tried teaching *janken* to seven chimpanzees. They showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees. The chimpanzees got food when they pointed to the stronger one. Finally, five of the chimpanzees learned *janken*.

The team also tried teaching *janken* to some human children. They found that children could learn *janken* when they were about four years old. Through this study, they got the answer to the question: "How smart are chimpanzees?"

[*A few minutes later*]

Ms. Smith: What is the most important point in this article?

Ichiro: ().

Ms. Smith: Right. That is the main point.

- 1 Some chimpanzees may be as smart as four-year-old children
- 2 Few animals can understand *janken*
- 3 The team showed pictures of two different *janken* hands to the chimpanzees
- 4 The team found that children could learn *janken* when they were about four years old

「平成31年度 全国学力・学習状況調査」より

【例4:要点を捉える問題(領域統合型)】

- 8 英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai!* We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

「平成31年度 全国学力・学習状況調査」より

ポイント

- ① 「読むこと」の目標(「必要な情報」「概要」「要点」を捉えること)に対応した評価問題を作成することが大切です。



【「読むこと」の目標に対応していない評価問題】

例：[指示文] 留学生のトムからあなたに次のようなメールがきました。メールを読んで、その内容に合っているものをアからエから1つ選び、その記号を書きなさい。
<—以下、省略—>

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」掲載問題を加工して作成

NG ポイント

□メールの内容と合っている選択肢を選ぶ問題(正解探し)になっており、「読むこと」の目標と対応していない。



改善ポイント

[指示文]を Change!
「読むこと」の目標を踏まえ、要点を捉える問題に!

例:留学生のトムからあなたに次のようなメールがきました。トムはあなたに何を頼んでいるのでしょうか。アからエの中から1つ選びなさい。
<—以下、省略—>

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」より



【要点を捉える問題において選択肢の設定に改善が必要な問題】

7 中学生の健(Ken)は、英語の授業で海洋(ocean)におけるプラスチックごみ(plastic waste)の問題(problem)について記事(article)を書いています。ブラウン先生(Mr. Brown)との対話文中の [] 内に入る最も適切なものを、あとのアからエの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

Ken: I'm writing an article about the problem with plastic waste in English. Mr. Brown, can you read my article?
 Mr. Brown: Of course.
 Ken: Thank you.
 [Mr. Brown reads Ken's article]

Do you know a lot of plastic waste goes ^{*1}into the ocean every year? Do you know many ^{*2}sea creatures ^{*3}die because they eat the waste? We must think about this problem.
 Plastic is ^{*4}useful, and to make things from plastic is ^{*5}cheap. We make 400,000,000 ^{*6}tons of plastic things every year. People around the world use a lot of plastic things every day.
 We also have a lot of plastic waste. About 8,000,000 tons of plastic waste goes into the ocean. It's not good for the ocean and sea creatures. They sometimes die because they eat ^{*7}small plastic waste. It's very sad.
 What can we do for them? We can find many things to do in our ^{*8}life. Let's start with small things. For example, we can ^{*9}stop using ^{*10}plastic bags. We can also clean the ^{*11}beaches. What will you do?
 Mr. Brown: It's very good. So you want to say [], is it right?
 Ken: Yes. What do you think about my English?
 Mr. Brown: Your English is also good.

- ア a lot of plastic waste goes into the river
- イ to make things from plastic is expensive
- ウ we don't use a lot of plastic things
- エ we have to do small things in our life

「令和2年度 佐賀県学習状況調査」を加工して作成

NG ポイント

□ 選択肢ア、イ、ウは、本文に述べられていない内容になっており、本文の内容と合っている選択肢エを選ぶと正解となる。そのため、筆者が一番伝えたいことを選択する問題にはなっていない。



選択肢を全て本文中で述べられているものに change! その中から筆者が一番伝えたいことは何か生徒が吟味して解答する問題に!



- ア to make things from plastic is cheap
- イ we use a lot of plastic every day
- ウ a lot of plastic waste goes into the ocean
- エ we have to do small things in our life

「令和2年度 佐賀県学習状況調査」より



【要点を捉える問題(領域統合型)において設問の仕方に改善が必要な問題】

例：〔指示文〕次の英文は、太郎（Taro）が英語の授業で行ったスピーチの原稿です。
太郎の問いかけに対して、あなたの返事を英語で簡潔に書きなさい。

Hello. I'm Taro. Look at this picture. This is Kai. He is a famous Japanese NBA player. I want to be an NBA player like him in the future.

Last month, I read a book about him. It said that he practices basketball really hard. He also studied English hard because English was important to communicate with his teammates.

Now I study English very hard to make my dream come true. I write in a diary and read a newspaper in English every day. Could you tell me the good way to study English?

「令和2年度 佐賀県学習状況調査」を加工して作成

NG ポイント

口問いかけ部分となっている最後の一文の意味が分かれば、文章全体を読まなくても解答できる問題になっている。



改善ポイント

〔指示文〕と本文の下線部を change!
文章全体を読み、太郎が一番知りたいことを捉え、
それに対して適切な内容で解答する問題に!



例：〔指示文〕次の英文は、太郎（Taro）が英語の授業で行ったスピーチの原稿です。太郎のスピーチの内容を踏まえて、あなたの返事を英語で簡潔に書きなさい。

Hello. I'm Taro. Look at this picture. This is Kai. He is a famous Japanese NBA player. I want to be an NBA player like him in the future.

Last month, I read a book about him. It said that he practices basketball really hard. He also studied English hard because English was important to communicate with his teammates.

Now I study English very hard to make my dream come true. I write in a diary and read a newspaper in English every day. I want to know another good way to study English. Please tell me.

「令和2年度 佐賀県学習状況調査」より

- ② 上記のような「読むこと」の能力に重点を置いた領域統合型の評価問題においては、解答を単語で書かせたり、英文で書かせたりする場合は2～3文程度にしたりして、「書くこと」の負担を減らします。また、「書くこと」の能力を問う問題にならないよう、採点基準の設定に留意する必要があります（p.8参照）。

6 評価問題見直しのポイント

評価問題を作成したら、その適切さを見直すことが大切です。評価問題見直しのポイントを以下に示します。

チェック

- 評価したいことを適切に問う内容や構成になっているか。

例：評価したいことが「要点を捉えること」である場合、話し手や書き手の伝えたいことが確実に示されているか

- 当該学期や当該学年で扱った言語材料が使用されているか。

- 背景知識がある生徒に有利な内容になっていないか。

- 聞いたり読んだりしなくても解答できる内容や問いになっていないか。

例：特定の語句や文の意味が分かれば解ける問題になっていないか

- 未習の語や文構造はないか。

ただし、文脈によって意味の推測が可能で、解答に関連しない箇所ならば使用することは考えられる

- 問題文や指示文は、分かりやすい文章で、誤解が生じない表現になっているか。

- 「知識・技能」の評価問題において、実際のコミュニケーションの場面が設定されているか。

- 「思考・判断・表現」の評価問題において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況が具体的に設定されているか。

- 選択式の場合、誤答の選択肢の中に正答になりうるものはないか。

- 他の問題の答えを示している問題はないか。

例：問1 Aはオーストラリアに行きましたか

問2 Aはオーストラリアで何を見ましたか

※この場合、問2を見ると、Aがオーストラリアに行ったことが分かる

- 親子問題(問1が解けないと問2も解けない)になっていないか。

など

